

2012年12月期 中間報告書

2012年1月1日から6月30日まで

目次

ごあいさつ	1
今後の見通し・トピックス	3
連結財務諸表（要旨）	5
地域社会とのつながり	7
会社概要／役員	8
株式の状況	9
株主様へのお知らせ	10



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2012年12月期の中間報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

さて、当期は当社グループの国内販売は堅調に推移してまいりましたが、欧州債務危機に伴う円高基調が継続し、海外重点市場である中国経済に不透明感が強まっていることから、外国販売において苦戦を強いられました。

当社は、中長期的な方針として「グローバル化への事業改革」を掲げ、取り組みを進めています。世界市場で必要とされる商品を創出するために、技術者を現地に長期派遣するなど、情報収集にとどまらず実際にその環境に身を置くことでしか得られない国際感覚の習得と真のニーズの把握に努めています。こうした取り組みを通して、開発面の強化とグローバル人材の育成に一層注力してまいります。

販売面では、引き続きアジアを中心に拠点の開設、整備を進めています。購入後も安心してお使いい

ただくために、サービス体制の充実も図りながら、さらなる市場の深耕を推進してまいります。

以上の施策を通じて、経営計画の達成に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2012年8月

代表取締役社長 吉池 達悦
Tatsuyoshi Yoshiike

2012年中間配当

当社は1株当たり年間20円を安定的利益還元のベースとしたうえで、連結配当性向30%を目途として、業績向上による一層の利益還元を実施したいと考えております。当中間配当につきましては1株当たり15円とさせていただきます。

2012年中間期の業績について

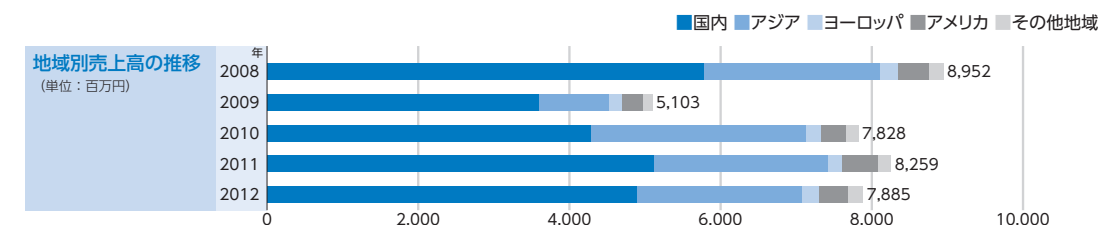
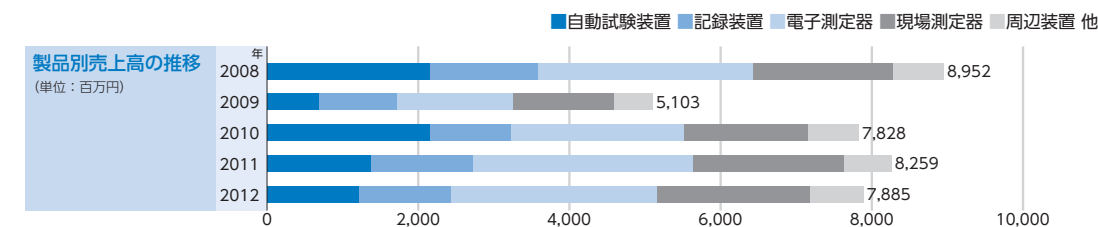
昨夏以降の急激な円高に一定の歯止めがかかり、国内の設備投資環境にも改善の兆しが見えてきました。これにより、上期の国内売上高は回復してきました。一方、海外売上高においては、当社自動試験装置の売上高が低迷、また欧州債務危機の深刻化や中国経済の先行き不透明感の強まりといった影響を受け、全体としても厳しい販売状況となりました。

当社は従来から環境・新エネルギー分野を重点市場として開拓してきました。今年4月には経済産業省が主幹する「エネルギー管理システム導入促進事業費補助金」の管理運営企業に採択されたことを契機に、電力監視システム等の一層の拡販に注力しました。

さらに、当期は韓国に自動試験装置の検査治具生産から販売・サービスを手がける子会社を設立。また、台湾には市場調査を担う駐在員事務所も開設し、市場深耕に取り組みました。しかしながら、外部環境悪化によるマイナス要因を補うまでには至らず、海外売上高は29億86百万円（前中間期比5.0%減）となりました。

以上の結果、当中間期の連結売上高は78億85百万円（前中間期比4.5%減）、経常利益は9億35百万円、純利益は6億18百万円となりました。

製品別売上高の推移と地域別売上高の推移（中間期）



2012年の見通しについて

国内においては、電子部品業界で設備投資がゆるやかな回復基調にあり、LCRメータなど電子部品関連製品の需要増が予想されます。また、電力不足の懸念や電気料金値上げの動きから、デマンド監視装置を中心とした電力計の需要増が見込まれます。さらにEV/HV*や太陽光発電に関連した投資が引き続き活況なことから、電子測定器、現場測定器の売上高が伸長すると見込んでいます。

海外においては、上期低迷した中国で電子部品、バッテリー関連の需要が見込まれるほか、韓国、台湾においてはスマートフォン、電子部品関連で自動試験装置の需要が期待されます。欧州債務危機による経済低迷、円高による影響はあるものの、重点地域であるアジア、米国においてさらなる販売網の構築を推進し、HIOKIブランドの浸透に注力します。

こうした取り組みにより、通期業績予想修正後の売上高163億円、経常利益21億円の達成を目指します。

※EV：電気自動車 HV：ハイブリッド車

グローバル化への事業改革の進展

4月に韓国大田広域市にHIOKI KOREA CO.,LTD.を設立しました。これは、成長著しい同国内の自動試験装置ユーザーに近づき、製品とサービスをよりタイムリーに提供することを目的としています。新会社では自動試験装置の検査治具生産から消耗品販売、検査治具の修理まで幅広いサービスを提供し、韓国における販売拡大とブランド確立を図ります。

さらに6月には、台湾桃園県に駐在員事務所を開設しました。桃園県は多くの工場が集積し、工業地帯として発展しています。当社にとって、台湾は自動試験装置や電子測定器を中心とするアジア地域の主要市場として位置づけており、事務所開設を契機に拡販につなげる市場調査を進めていきます。



HIOKI KOREA CO.,LTD. 設立式典

世界初の空間磁界可視化システム 3社合同で構築

当社と株式会社ノイズ研究所様、ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社様の3社が、電気機器から発生する低周波磁界の空間分布を可視化するシステム「EPS-02EMF system」を合同で構築しました。

磁界が人体に有害である可能性を踏まえ、特に電子化が進む自動車分野に向けて活躍が期待されています。



空間磁界可視化システム EPS-02EMF system

磁界測定器FT3470-55が電設工業展（JECA FAIR 2012）で独立行政法人労働安全衛生総合研究所理事長賞を受賞

電気機器から発生する磁界が、人体の健康に影響を及ぼすかどうかの基準は、国際的専門機関がガイドライン値として定めています。その値をクリアしていることが安全性の証明に有効であることから、その値を正確に測定する必要性が高まっています。

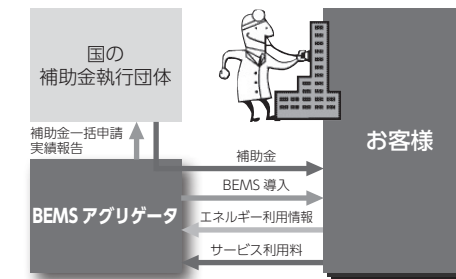
今回の受賞では、当社が国内メーカーで唯一、測定値の確かさを保証するための磁界校正設備を保有する技術力が評価されたものと考えています。



省エネを強力にサポート ～経産省からBEMSアグリゲータとして採択～

経済産業省から「平成23年度エネルギー管理システム導入促進事業費補助金」公募におけるBEMSアグリゲータ（エネルギー利用情報管理運営者）に採択されました。株式会社ヴェリア・ラボラトリー様を幹事会社として、当社を含め5社で構成されるコンソーシアムが、中小ビル等の高圧小口の電力需要家にBEMS*を導入していただき、電力消費量の削減を推進しようというものです。

※BEMS：Building and Energy Management System（ビル・エネルギー管理システム）



中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (2012年6月30日現在)	前中間期 (2011年6月30日現在)
(資産の部)			
流動資産		11,575,661	11,172,283
固定資産		8,592,948	8,361,217
有形固定資産		6,726,858	6,552,020
無形固定資産		247,419	325,069
投資その他の資産		1,618,669	1,484,127
資産合計		20,168,610	19,533,500
(負債の部)			
流動負債		1,797,970	1,736,643
固定負債		634,070	695,926
負債合計		2,432,041	2,432,569
(純資産の部)			
株主資本		17,821,889	17,160,775
資本金		3,299,463	3,299,463
資本剰余金		3,936,881	3,936,881
利益剰余金		11,346,965	10,685,792
自己株式		△761,420	△761,361
その他の包括利益累計額		△109,652	△84,673
その他有価証券評価差額金		28,608	35,581
為替換算調整勘定		△138,260	△120,255
少数株主持分		24,330	24,828
純資産合計		17,736,568	17,100,930
負債・純資産合計		20,168,610	19,533,500

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (2012年1月1日から 2012年6月30日まで)	前中間期 (2011年1月1日から 2011年6月30日まで)
売上高		7,855,440	8,259,823
売上原価		4,926,497	5,046,756
売上総利益		2,958,943	3,213,067
販売費及び一般管理費		2,037,963	2,131,465
営業利益		920,979	1,081,601
営業外収益		61,193	32,293
営業外費用		46,692	46,077
経常利益		935,480	1,067,817
特別利益		67	59
特別損失		2,827	11,972
税金等調整前中間純利益		932,720	1,055,903
法人税、住民税及び事業税		383,631	216,775
法人税等調整額		△71,760	62,121
少数株主損益調整前中間純利益		620,849	777,006
少数株主利益		2,667	5,428
中間純利益		618,181	771,578

中間連結キャッシュ・フロー計算書

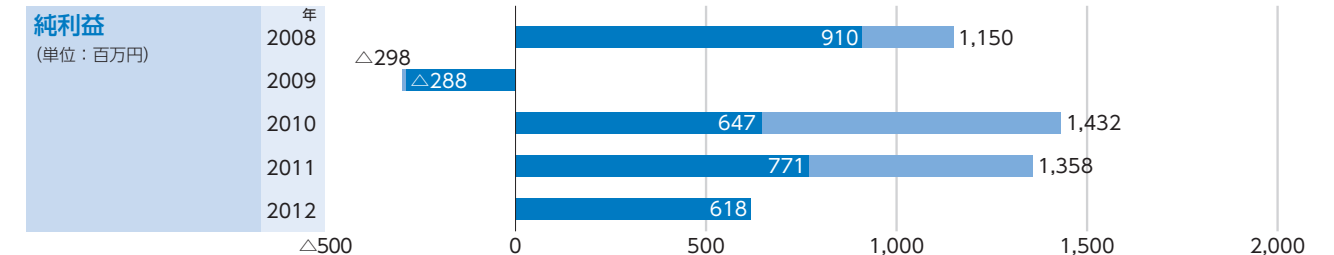
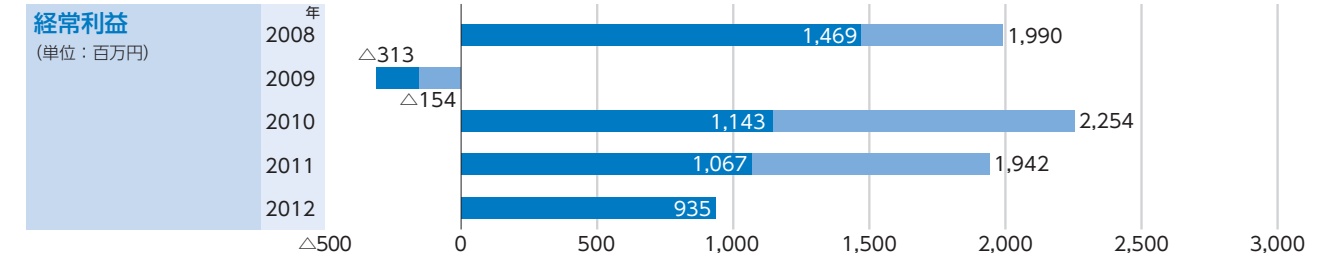
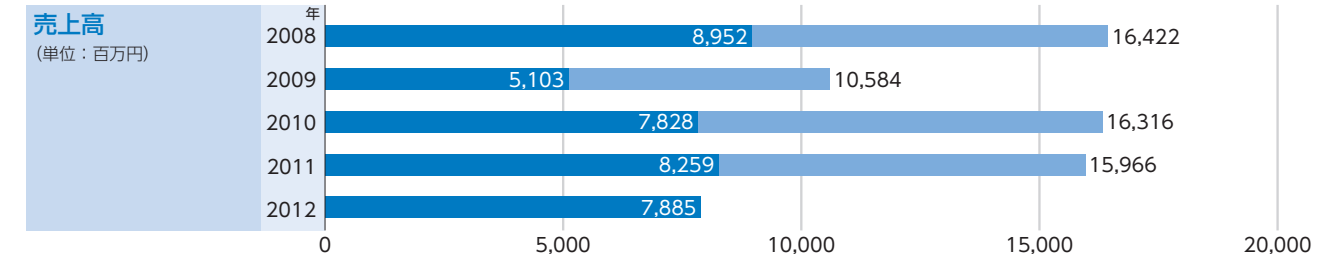
(単位：千円)

科目	期別	当中間期 (2012年1月1日から 2012年6月30日まで)	前中間期 (2011年1月1日から 2011年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,182,866	594,801
投資活動によるキャッシュ・フロー		△700,284	△372,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		△339,951	△272,469
現金及び現金同等物に係る換算差額		△5,175	2,019
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		137,455	△47,691
現金及び現金同等物の期首残高		4,567,376	3,916,008
現金及び現金同等物の中間期末残高		4,704,831	3,868,316

当報告書の財務諸表については、千円未満は切捨てにて表記してあります。

業績の推移

■中間期 ■通期



スポーツを通し、子供たちの夢の実現を応援しています

当社は地域社会の一員として、HIOKIフォレストヒルズにある各種施設を開放し、地域の文化や教育の発展に寄与すべく積極的に活動しています。スポーツを通し子供たちの「夢」や「人間力」を育む活動をご紹介します。

● 少年硬式野球（リトルリーグ）の支援

青少年の健全育成と地域との交流を深めるために、「上田南リーグ」を1991年に設立。社員が監督・コーチとなり、HIOKIグラウンド*1で少年たちの「夢」や「人間力」を育んでいます。

リーグには子供たちの年齢ごとにファーム、マイナー、リトル、シニアの4つのチームがあります。2012年は、リトルのチームが全国大会に出場しました。

上田南リーグが指導するのは野球ばかりではありません。土曜日は漢字や英語の勉強会もあります。また、2年に一度は韓国や台湾に遠征し、国際交流により大きく成長する子供たちを見守りながら、ともに歩み続けています。



● 南ジュニアスポーツクラブの支援

小学校1・2年生の子供たちが外で遊ぶ楽しさや、スポーツを通しての喜びなどを知ってもらうために1997年に同クラブを設立。毎週土曜日にはHIOKIテニスコート*2から元気な声が響いてきます。社員がスタッフとなり、子供たちと一緒に遊び、時には子供たちの努力や成長から、逆に教えられることや励まされることもあり、スタッフの成長の機会ともなっています。



● ランニングコース

2010年に、新駐車場と併せ1周450mのランニングコースが完成。地域の皆さんに開放し、ランニングの練習やウォーキングを楽しんでいただいています。また、毎年10月に開催される「上田古戦場ハーフマラソン」に当社は協賛するとともに、同マラソンの練習コースとしても利用されています。



*1 HIOKIグラウンド
内外野とも土、両翼101m（リトルリーグは2面可能）、照明塔6基、主に上田南リーグ、地区の早起き野球、野球の夏合宿に利用いただいています。
*2 HIOKIテニスコート
人口芝コート4面、照明塔8基、主にHIOKIグループ社員、南ジュニアスポーツクラブ、近隣の中学校や高校の部活に利用いただいています。

■ 会社概要 (2012年6月30日現在)

商号 日置電機株式会社

英文商号 HIOKI E. E. CORPORATION

創業 1935年（昭和10年）6月

設立 1952年（昭和27年）1月

商標 **HIOKI**

資本金 32億9,946万円

社員数 673名
(HIOKIグループ全体)

事業内容 電気計測器の開発、生産、販売・サービス

本社・工場 長野県上田市小泉81

日置フォレストプラザ(株)
HIOKI USA CORPORATION
日置エンジニアリングサービス(株)
連結子会社 日置（上海）商貿有限公司
HIOKI INDIA PRIVATE LIMITED
HIOKI SINGAPORE PTE. LTD.
HIOKI KOREA CO., LTD.

■ 役員 (2012年6月30日現在)

取締役			
代表取締役社長	吉池達悦		
取締役	田口公明		
取締役	町田正信		
取締役	細谷和俊		
取締役	岡沢尊宏		
取締役	巢山芳計		

監査役			
常勤監査役	藤沢政幸		
常勤監査役	芳田隆志		
監査役	弓場法		
監査役	中谷朔三		

弓場法および中谷朔三の両氏は、社外監査役であります。

■ 経営諮問委員

森健一	元 東芝テック(株)代表取締役社長
磯山隆夫	元 東京海上火災保険(株)取締役副社長
日置恒明	日置電機(株)相談役
吉池達悦	日置電機(株)代表取締役社長
田口公明	日置電機(株)取締役専務執行役員

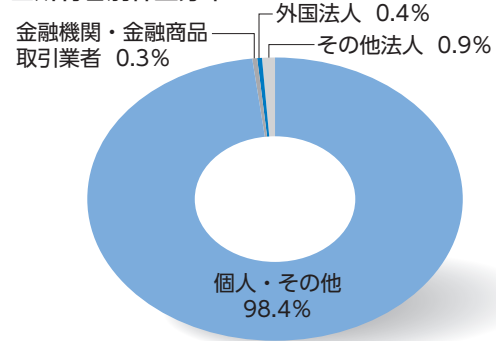
■ 執行役員

社長	吉池達悦
専務執行役員	田口公明
執行役員	竹内勝広（開発部長）
執行役員	町田正信（技術1部長）
執行役員	細谷和俊（技術3部長）
執行役員	岡沢尊宏（製造部長）
執行役員	水野厚（品質保証部長）
執行役員	高木正行（営業部長）
執行役員	山崎明（ソリューション営業部長）
執行役員	鷹野保直（外国営業部長）
執行役員	巢山芳計（総務部長）

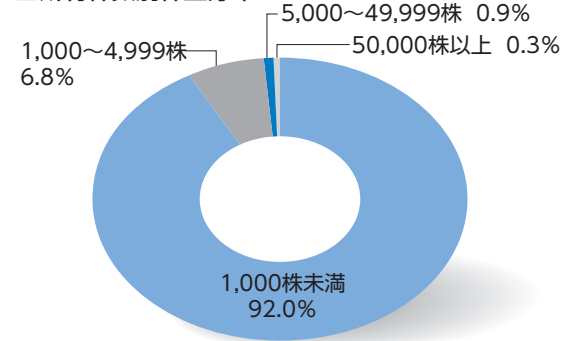


発行可能株式総数	40,514,000株
発行済株式の総数	14,024,365株
株主数	15,001名

■所有者別株主分布



■所有株数別株主分布



株 主 メ モ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年2月
期末配当金受領株主確定日	毎年12月31日（中間配当金を支払う場合は、毎年6月30日）
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711（フリーダイヤル）
公告方法	日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ（ http://www.hioki.co.jp/jp/finance/ ）に掲載しておりますので、ご参照ください。
上場市場	東京証券取引所第一部（証券コード 6866）

●株主優待制度

当社では、毎年6月30日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主の皆様へ、「信州りんご」を12月上旬にお送りする株主優待制度を実施しております。確実にお届けするために、住所を変更された場合は、住所の変更手続きをお願いいたします。
※株主優待対象の株主確定日は6月30日ですが、株式等振替制度上確定日を含めて4営業日前までに株式を購入いただく必要があります。

●お問い合わせ窓口

当社 総務課 TEL 0268-28-0555 MAIL ir@hioki.co.jp

●株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

① 証券会社の口座に記録された株式		
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 （フリーダイヤル）

② 特別口座に記録された株式		
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 （フリーダイヤル）
郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	

●配当金のお支払いについて

支払期間経過後の配当金のお受け取り方法に関するお問い合わせは、上記お問い合わせ先にお申し出ください。まだお受け取りいただいていない配当金につきましては、支払開始日から3年以内であれば配当金をお支払いいたします。

●単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（1～99株）については、市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求（売却）または100株（1単元）となるよう買増請求（購入）をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は上記のお問い合わせ先にお申し出ください。